[illegible]發(下り)[illegible]午前七時[illegible]分(上野迄)十一時[illegible]分[illegible]時五十分(宇都宮迄)午後一時四十分(青森迄)[illegible]△(上り)[illegible]午前十二時三十分(上野迄)午前八時卅五分(上野迄)[illegible]●[illegible]發(下り)午後四時四十五分[illegible]午後一時卅分(青森迄)四時(所內迄)午前八時卅五分[illegible]午前五時二十五分(宇都宮迄)午後一時四十分(青森迄)●所內發(下り)午前六時五十五分(青森迄)[illegible]六時卅分(上野迄)十二時四十五分(青森迄)△(上り)午前六時四十[illegible]

○兩毛鐵道發車時刻　小山發(下り)午前七時十分、九時二十分、十一時四十五分、午後二時十五分、五時十五分、八時四十分●桐生發(下り)午前五時、六時四十分、九時三十分、十一時二十一分、午後一時四十七分、四時二十五分、七時二十三分△(上り)午前五時十分、七時八分、九時十五分、十一時四十六分、午後二時十五分、五時五分●[illegible]發(上り)午前六時五分、八時、十時四十分、午後一時五分、三時五十分、六時四十五分、八時[illegible]

[illegible]時二十[illegible]分、六時五十一分●宮川發(上り)午前四時三十二分、六時二十七分、九時二分、十一時三十四分、午後十二時三十五分、二時五分、三時十二分、五時四十分

○山陽鐵道發車時刻、神戶發(下り)午前五時五分(糸崎迄)午前七時二十五分(廣嶋迄)午前九時五十分(岡山迄)午前十一時五十分(廣嶋迄)午後[illegible]

朝鮮國全圖

本年七月一日新報附錄　定價一枚一錢五厘

北淸地圖

本年八月九日新報附錄　定價一枚一錢五厘

今回日淸事件の報道を閱するに無くて叶はぬは右の地圖なり由て本社は前記の低價にて大方の需めに應ず郵稅は一枚以上七枚までは二錢、以上七枚を增す每に二錢を遞加す故に成るべくは數人申合せて一と纏めに注文あるを便利なりとす

韓地軍隊野營寫眞

去七月十八日附錄定價一枚參錢

小川一眞氏の手に成る精巧美麗の寫眞銅版圖にして

第一　京城なる帝國公使館

第二　仁川公園の帝國軍隊野營

第三　九峴山麓の帝國軍隊野營

を一枚の中に收め我が帝國軍隊の海外に野營して國威を宇內に輝し威風凜々、軍紀整々の狀を眼前に寫出す帝國臣民は一枚を購ふて永く座右に保存し忠勇の氣象を養ふべし

郵稅は一枚以上十二枚まで二錢、以上十二枚每に二錢を增す是亦一と纏めに注文あるを宜とす

時事新報

淸國當局者の感如何

此回の日淸事件たる彼より事を醸して又彼より戰を挑みたるは讀者と共に事實に於て明に認むる通りなり淸國從來の政略に徴するに容易に斯る果斷の擧動に出づ可しとは思はれず然るに其出づ可らざるに出でたるは一見頗る怪む可きが如くなれども自から種々の原因あるみとにして就中その大原因と視做す可きは李鴻章が我日本の國情を見損じたるの一事なり蓋し李の意に以爲らく日本は頻りに文明開化を輸入して果は立憲政治までも採用するとの事なれども恐らくは急進たまたま蹉跌を招くに終る可きか、其形況を觀察するの要みそあれとて公使領事にも所存を申含めたるならん或は特に視察員を派遣したるみともあらん其着眼は偏に此點に注ぎたりしに果せる哉報告者の眼中に映ずる所は事々物々都て與黨の種ならざるはなく日本の政界は所謂壯士橫議政府また威信なきの光景にして殊に國用の如き百圓金の徴と雖も議會の認諾を得ざれば支出するみと能はざるのみか政府と議會と毎々衝突して秩序全く紊れ甚だしきは天皇を除くの外大臣高官と雖も遠慮會釋なく面折して更に假借する所なし又民間に於ても朋黨比周互に相軋轢して議員選擧の際の如きは既に亂暴擾亂言はん方なく正に是れ人心離散四分五裂して上下沸騰內訌に疲れ復た爲すあるに足らざるの觀を呈せしより擬みる案に違はずとて報告者は例の文筆を走らし態々先を爭ふて大袈裟に注進せしみとならん否な正しく李の手許に此種の報告の簿りたるは相違もなき事實なりといふ彼の周公孔子の夢を夢みて因循姑息を是れ事とする支那人の腦髓には斯る事情を見聞して日本は最早衰滅に近づきたりと斷定するも無理ならぬ次第なれば李もイツしか烟に捲かれて日本與し易しと想像せしみとならん加ふるに朝鮮に於ては袁郎小策を弄らして頻りに李の對韓政略を慫慂したる趣なれば彼是れ思ひ合はせて遂に此回の事件を醸したるは歷々として推知するに餘りあるが如し想ふに我政界の情況たる今若し之を支那に移して演ずるものとせば果して李の想像の如く自から倒るゝの外なきや疑ある可らず自國の四分五裂を以て他の四分五裂を推せば定めて累卵の危きを見るが如くなる可けれども是れぞ即ち李の誤解を生じたる所以にして我日本人は如何なる政爭をなせばとて之が爲め聊かも愛國心を傷くる者にあらず支那人の忠義の聲を高くして其聲の高き程に其狀の薄き者とは天淵月鼈も啻ならず世界萬國中恐くは日本人ほど愛國心に富むはなく又支那人ほど愛國心に乏しきはなかる可し現に今の四百餘州は二百年前外國に奪はれて其奪はれたる者と奪ふたる者と雜居する處にして其國民は何を目的にして國を愛す可きや若しも漢人等が國を愛すと云へば自家に侵入したる盜賊の爲めに其盜品を保護するに異ならず先づ以て人間世界にあるまじきみとなり之を開闢以來金甌無缺曾て外人に汚されたるみとなき我大日本國に比較して到底同年の論に非ざる尙は其上に日本人の文明を採用するや每事出藍の伎倆ありて政治に於ても決して疎ならず立憲政と黨爭との關係の如きは黃吻の書生も亦能く其旨味を解して旣に粹の粹なるものなれば紛々擾々も尋常一樣たるに過ぎず之が爲め國家の大計を誤らん抔とは日本人に絕無の沙汰にして支那人に向て始めて之を言ふ可きのみ憫む可し李も亦誠に支那人たるを免れざるが故に此邊の消息を解せずして漫に袁世凱をして朝鮮を攪擾せしめ而して自から開戰論を主張して以て今日を招致したるは老爺一代の不覺と云ふ可し即ち彼の心算は若々事實と齟齬し日本にては朝鮮事ありと云ふや否や現に國會解散とまでに張論めたる政爭も忽焉聲を斂めて却て義勇兵募集、軍資金醵出の聲となり將に來らんとする總選擧の期日も殆んど忘れたるが如くにして甲黨乙派を問はず商賈農夫の別なく老若男女全國四千萬の人心は期せずして恰も一團の如く報國の赤誠は五畿八道津々浦々に充滿して氣旣に滿淸四百餘州を呑めり況んや平生訓練を積みたる軍隊に在ては啣嗟に出師の準備を整へ豐島に牙山に戰へば必ず勝つの實あり殊に彼の最も蔑視したる軍費の如き如何なる情況を呈しつゝあるや我政府の旣に公債募集令を發したるを見て無智の淸人或は國庫の欠乏と視做すもあらん歟なれども非常の際に公債を募るは財政の整頓せる國家の常例にして現その募集額は差向き三千萬圓額面百圓のものは最低額百圓と定めて五朱の利息を付する筈なり然るに經濟市場の實際を見れば同じく五朱利付の整理公債證書は次第に其價格を減じて額面百圓のものも九十何圓に下落し公債の市況甚だ不昧なるの今日にも拘はらず今度の公債は軍事公債なりとの故を以て百圓のものは正しく最低百圓の標準に從ひ八方より之に應ずる者蟻の如く集り募集金額に超過せんみと將に不日にあらんとす今後も必要次第五千萬にても六千萬にても多々ますます之を辨ずる易々たるのみ經濟の事情かくの如くなれば國會とても一議に及ばず承諾を與へんみと明白にして政黨間の內議を聞くに一億圓も敢て辭せずといふ百圓金の支出を拒むの場合あるものが一朝一億圓も供給して喜び勇むの義烈心ありとは支那人の想像に及ばざるみとならん其他國民の私財を抛ちて軍資に供するもの日々應接に遑あらざる程にして此民心は國會をして一億圓を二億圓となすにも足る可し聞く所によれば李も心算全く齟齬したる[illegible]方なくして恚怒を他に洩し袁世凱等を遇するにも復た昔日の如くならずといふ此上我軍事公債募集の景況を耳にしたらばイヨイヨ驚愕落膽して窃に日本人心の意想外なるを讀み自國人民の腐敗を顧みて中宵輾轉眠就らざるみとならん我輩の氣の毒に思ふ所なり

雜報

○立見第十一旅團長の渡韓　步兵第十一旅團長立見尙文氏は此程渡韓の途に上りたるよし

○大築、別役兩少將の復職　休職陸軍少將別役成義、同大築尙志の兩氏は復職を命ぜられたり

○軍人軍屬の增俸　日淸事件のため日曜も廢休し退省定時限過ぎ迄執務する陸軍本省、參謀本部又は砲兵工廠等の軍人軍屬は上み、大臣より下も雇小使給仕に至るまで本俸五分の一宛を增給したるよし

○登用軍吏多し　陸軍一等書記は陸軍々吏學舍に入學し軍吏適任證書を授與されたるにあらざれば官吏に任ぜられざる制規なれども日淸事件のため軍吏の欠員多くして補充員の少なきより陸軍省にては無試驗にて一等書記より數十名三等軍吏に登用したるよし

○李鴻章は日本政府及英國を欺きたり　英國倫敦のデーリー テレグラフ 新聞は論じて云く(前略)斯る不祥なる運動を爲し事の結果をして今更ら避す能はず又避す必要なき所の容易ならざる域に到らしめし抑々その發頭人は實に是れ支那たるみとは多分、我外務省も知る所ならん李鴻章は斯の如く款を露國に通じて日本と英國とを欺きたり而してみの事たるや鴻章が以前より存したる秘密約束に隨ふて爲せしみとゝ信ぜざらんとするも得可らざる理由あり此外交上不深切の直接の結果は即ち曩には唯、互に競爭する所の二箇の亞細亞國が內輪の爭論たりし所のものを變じて東洋貿易及び東洋問題に關係せる總べての歐洲諸國が共同の利害に關する問題たらしめたり露國が全部又は一部占領を以て今正に脅嚇し居る所の朝鮮の危險に對し我英國の痛痒を感ずるみと日本政府と毫末の差なきは明々瞭々として火を見るが如し李鴻章の所業を目擊したる今日に於ては露國の權勢が支那海に於て非常に增長するみとに對し我々を護衞するものは日本の勇敢にして正直なる行爲を除て他に依賴す可きものなきなり云々

○招商局の三新汽船　招商局の新汽船は七月四日、愛蘭ベルファアスト港なるウヱルクマン クラーク會社の船渠より進水されたり命名の式を爲せしは上海に於ける同會社支店長の內君ガツランド夫人にして船名はチンウオーと定まりたり此船は長さ三百七十呎、幅四十六呎、深さ二十九呎、速力は凡そ十一ノット半にして貨物運送の用にのみ供するものなり又同會社にて造築せしチンウオーと姉妹船なるウーパツクは八月中に進水せらる可く尙又殆んど之と同量なる招商局新汽船は蘇國クライド河濱に於て目下造築中なり此等の序に記臆せんが此度び日本へ賣渡したるウヱルクマン クラーク會社の汽船モーユーンは漢口より季節中第一番荷の茶を英國へ輸入せしみと連年八回に及べり蓋し貿易競爭中、匹敵なき技量なりと倫敦支那エキスプレツ新聞に見ゆ

○中村群馬縣知事と軍事公債　中村群馬縣知事は軍事公債中二百萬圓は同縣下人民にて負擔するの